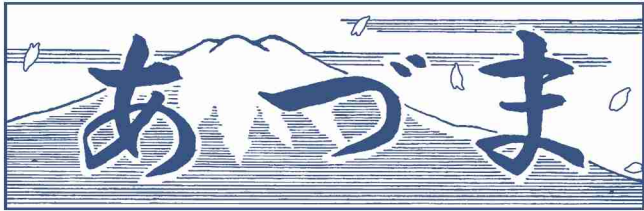


方面	東ティモール能力構築支援	(1面)
1師団	対空実射訓練	(3面)
12旅団	ドアガン射撃訓練	(4面)
1施設団	東ティモール能力構築支援	(5面)
関東補処	駐屯地警備訓練	(5面)



令和4年9月25日 第1052号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
総監要望事項「克己」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所：方面総監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446



測量の要領について教育する隊員



器材の取り扱いを教育する隊員

方面隊は8月17日から9月末までの間、東ティモール民主共和国メティナロ基地において、豪陸軍が主催する東ティモール国防軍後方支援隊に対する能力構築支援事業「ハリ・ハムトゥック22」に参加中である。

今回の支援は東ティモール国防軍に対して、土木修繕、施設機械整備及び車両整備に係る教育を実施し、同軍の施設及び人道支援・災害救援（JICA/DR）分野に係る能力

東ティモール能力構築支援

インド太平洋地域の平和と安定のため

を向上させるとともに、米国、豪州及びニュージーランドとも緊密に連携を図り、多国間での信頼関係を強化することを目的として行われている。

本事業は陸上自衛隊として平成27年度から実施している。方面隊として



消防と共同で救助活動を行う高射学校の隊員

総監は9月1日、蘇我スポーツ公園（千葉市）において行われた令和4年度九都県市合同防災訓練を視察した。

九都県市合同防災訓練 自治体等と連携し防災体制の強化を図る

九都県市合同防災訓練は首都直下地震等の被害に備え災害対応能力の向上及び防災体制の充実強化を図るため、各自治体及び防災関係機関の連携により昭和55年から実施されている。現在は埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市



参加隊員を激励する総監

総監は訓練参加部隊に対し「災害対応は初動が肝要であり、特に現場の隊員一人一人の適切な状況判断と行動は人命救助の成否を左右する。そのため、日ごろから各々の隊員がよく考えて行動し、各種事態に備えてもらいたい」と語った。



総監に出国報告をする派遣隊員

実施されている。方面隊からは第1施設団7人、第2高射特科群1人及び東部方面後方支援隊4人の隊員が参加し、8月4日には総監に対する出国報告が行われた。総監は「国旗を背負っていくということは日本の存在意義を示すために非常に重要な役割である。一人一人が日本を代表していくという意識を忘れないで欲しい。異なった生活環境の中で苦勞もあると思うが、しっかりと任務を遂行せよ」と激励した。

関連16面



人命救助システムを体験する参加者

夕刊フジ主催 『親と子のアウトドアキャンプ』を支援 83名の親子が 盛りだくさんのイベントに笑顔



一番人気だった体験搭乗

方面隊は8月24日、朝霞駐屯地において親子のアウトドアキャンプ支援を実施した。

親子のアウトドアキャンプは夕刊フジ（産経新聞社）が主催するイベントで平成元年から毎年、各方面隊持ち回りに実施されている。本イベントはコロナ禍のため2年間中断していたが、感染症対策を万全にすることにより久しぶりに開催することとなり、今年で34回目となる。今回は応募した83名の参加者（保護者43人、子ども40人）に対し、ヘリコプター（CH-47JA）体験搭乗、高機動車体験試乗、体験喫食、人命救助システム展示・体験及び広報センター見学を行った。

午前中は第12ヘリコプター隊の支援によるヘリ体験搭乗を実施した。当初天候が心配されたが、飛行時には見事な晴天となり、朝霞訓練場から都内上空を飛行する約15分間のフライトを行い、参加者は機内からの景色やヘリの乗り心地を楽しんでいた。また第32普通科連隊の支援による高機動車体験試乗も実施され、駐屯地内約10分のコースを各要所の案内を交えて行い、参加者は朝霞駐屯地の歴史に触れながら、心地よい風を感じていた。昼には隊員食堂で普段隊員が食べている栄養満点のメニューを喫食した後、厚生センターで自衛隊グッズ等の買い物を楽しんだ。午後からは第1施設大隊の支援による人命救助システム展示・体験を行った。ここでは個人用セット、破壊構造物探知機、油圧式カッター、エアジャッキ、ピストン式破壊工具及び渡河ボートの計6個ブースを開設し、参加者はそれぞれの装備の説明を受け、また体験することで、陸上自衛隊の災害派遣活動への理解を深めていた。

参加者からは「貴重な体験ができた」「隊員が皆優しかった」「自衛隊をより身近に感じることができた。また参加したい」との声が多く聞かれた。

第78回定期演奏会

クラシックの聖地で荘厳な響きを

東部方面音楽隊は8月31日、東京文化会館(台東区上野)において、第78回定期演奏会を実施した。

一流アーティストたちが名演奏を披露してきた由緒正しいコンサートホールである。クラシックの聖地とも呼ばれるこの会場にふさわしく、今回は

高度な技術を要する曲目を選曲し、プログラムが構成された。

演奏会はホール独特の荘厳な響きによる国歌「君が代」で幕を開けた。

第一回はテューバの独奏により高難度の技術を要する「テューバ協奏曲」(R. ヴォーン・ウィリアムズ)、「R. ヴォーン・ウィリアムズ」など3曲が演奏され、訪れた吹奏楽部学生



ほぼ満員となった東京文化会館



演奏部隊を指揮する音楽隊長

定期演奏会プログラム

国歌「君が代」

【第1部】
 マーチ「カタロニアの栄光」(間宮 芳生)
 テューバ協奏曲 (R. ヴォーン・ウィリアムズ)
 エクストリーム・メイクオーバー (J. デ・メイ)

【第2部】
 新世界の踊り (M. エレビー)
 美しき人生 (J. シルバー)
 交響詩「ローマの祭り」 (O. レスピーギ)

【アンコール曲】
 All Wishes ~すべての願いをこめて~ (清水 大輔)
 アンパルト・ロカ (J. テキシドール)

部隊相談員養成訓練

時代に合った技法を学ぶ

方面隊は7月5日から8日までの間、朝霞駐屯地において令和4年度第2回部隊相談員養成訓練を、8月23日から26日までの間、令和4年度駐屯地力カウンセラー練成訓練で

地力カウンセラー練成訓練をそれぞれ実施した。駐屯地力カウンセラー練成訓練で

は各部隊の部隊相談員等38人が参加し、メンタルヘルス施策や傾聴技法、自己管理技法等を座学で学ぶとともに、参加者同士による傾聴技法実習を実施して傾聴の基本的技法等について学んだ。駐屯地力カウンセラー練成訓練

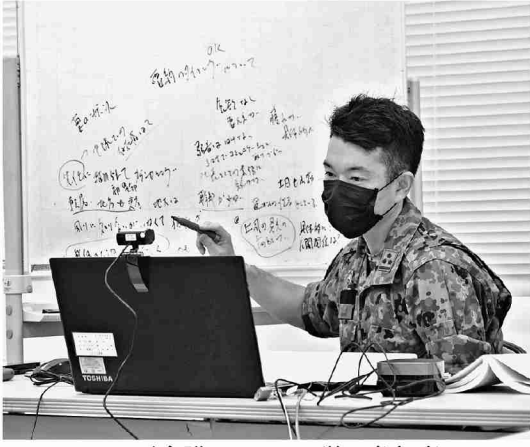
練においては、各部隊の駐屯地力カウンセラーに対してテレビ会議システムを利用して実施し、部外講師によるカウンセリング実習や方面心理幹部による教育実習及びSNSによる教育実習及びSNSカウンセリングに関する

「外部講師によるうつとストレスに関する説

明が大変参考になった。またSNSカウンセリングについての教育は斬新であり、時代に合った教育で、今後重要になっていくと感じた。今回学んだ事を大切に今後に生かしたい」と語った。



集中して講義を聞く参加者 (部隊相談員養成訓練)



テレビ会議システムで学ぶ参加者 (駐屯地力カウンセラー練成訓練)

衛生科職種合同訓練

戦傷治療能力の向上を図る

方面隊は8月29日から30日までの間、朝霞駐屯地において令和4年度第1次方面衛生科職種合同訓練を実施した。

本訓練は東部方面衛生隊長を訓練担任官として職種部隊に必要な練度の維持・向上を図ることを目的として行われ、方面

隊隷下職種部隊間の横断的な練成訓練を実施した。訓練では当初、担任官が訓示し「普段触れる機会のない器材を用いての訓練であるのでしっかりと演習して欲しい。また形式化に陥らず『何のためにこの処置をするのか』ということをよく考

えながら実施せよ」と述べた。その後、座学による戦場外傷救護についてのガイドライン(TCCC)に関する教育を実施した。TCCCは傷病者の治療、さらなる傷病者発生の防止を目的としており、救護活動を段階区分

程度に応じて行う医療内容を定義することが特徴で、参加者はその実践的な内容に熱心に耳を傾けていた。また部外講師として元東方衛生隊最先任上級曹長の笹木徳之氏を招いて第一線救護実践訓練を実施し、

救急処置訓練シミュレーターを使用した

参加隊員に説明するOBの笹木氏



参加隊員に説明するOBの笹木氏

部隊との絆をより深める 転入家族オリエンテーション

総監部は8月28日、陸上自衛隊広報センター第2回転入家族オリエンテーションを実施した。

本施策は8月に転入した隊員家族を対象として行い、家族相互間の交流の場を提供するとともに、部隊に対する信頼感の醸成及び新たな環境への不安感を除去することを目的として実施された。

オリエンテーションでは当初、人事厚生課長による趣旨説明、方面隊及び朝霞駐屯地の概要説明、家族向けのビデオ放映、家族支援施策及び周辺の生活環境の紹介等をした後、陸上自衛隊広報センター内を見学して終了した。参加者の3分の2を占める子どもたちも十分に楽しんだ様子であった。

参加者からは「わかりやすい説明で良かった」「災害時の心構えができた」「周辺の商業施設がよくわかり生活の参考となった」等の感想があった。



オリエンテーションに訪れた隊員家族



方面隊の概要説明を聞く隊員家族

第1師団

「一撃必墜」の精神で命中！

静内・六ヶ所射場にて対空実射訓練

地对空誘導弾実射訓練
第1高射特科大隊は7月9日から29日までの間、静内対空射撃場（北海道）において高射学校、第1後方支援連隊等による支援を受け、令和4年度地对空誘導弾実射訓練を実施した。

本訓練は93式近距離地对空誘導弾（近SAM）及び81式短距離地对空誘導弾（短SAM(B)）の射撃訓練の維持・向上を図る目的で行った。

1高射は7月10日、東千歳駐屯地へ集結を完了し射撃準備及び模擬実射訓練（短SAM(B)）を行うとともに、17日からは静内対空射撃場へ移動し、近SAM及び短SAM(B)の射撃準備を実施した。22日、早朝から近SAM及び短SAM(B)の器材を展開し、射撃準備が完了した後、射撃場内より高速標的機が上空に舞い上がった。高射中隊の短SAM小隊は、迅速に目標を捜索捕捉し、射撃を遂行し命中させた。

なお指揮情報中隊による近SAM小隊の実弾射撃については、低雲高のため射撃管理規則に基づき、やむを得ず中止となった。

本訓練は91式携帯地对空誘導弾（携帯SAM）の射撃訓練の維持・向上を図る目的で行った。

32普通科連隊は7月16日から27日までの間、六ヶ所対空射撃場（青森県）において高射学校等の支援を受け、令和4年度地对空誘導弾実射訓練（携帯SAM）を実施した。

32普通科連隊での射撃予習、模擬実射訓練等を通じて訓練の向上を図ってきた。実射においては、訓練成果を遺憾なく発揮し、直進して飛行する標的機に見事命中させた。

携帯地对空誘導弾実射訓練
第32普通科連隊は7月16日から27日までの間、六ヶ所対空射撃場（青森県）において高射学校等の支援を受け、令和4年度地对空誘導弾実射訓練（携帯SAM）を実施した。

32普通科連隊での射撃予習、模擬実射訓練等を通じて訓練の向上を図ってきた。実射においては、訓練成果を遺憾なく発揮し、直進して飛行する標的機に見事命中させた。

携帯SAMの射撃は、年度により各方面隊を代表して携帯SAMを装備する部隊から1コ射撃組が実施するもので、今年度は32普通科が参加した。

その後、1都6県の地本長等を交えた師団募集連絡会議を実施し、各地本からの要望事項についてやチーム（適度な広報官、臨時勤務、リクルータの差出等）に基づく意見交換を行った。その中で女性広報官の経験がある援護募集隊曹の安齋2曹が師団の実情と勤務状況について率直な意見を公表した。積極的な意見交換により今後の女性広報官の活用について相互に理解を深めることができた。

師団は7月20日、司令部作戦室において第2回師団部隊長等会議を実施した。当初、陸幕が実施した定例幕僚VTC（7月）の概要説明等を行い陸幕・東部方面隊からの指導事項等の徹底を図った。またZ世代の特性について率直な意見を公表した。積極的な意見交換により今後の女性広報官の活用について相互に理解を深めることができた。

師団は7月20日、司令部庁舎において令和3年度師団ナンバーワン戦士の認定式を行った。今回で6回目となる「師団ナンバーワン戦士」の認定は、師団の隊員のさらなる戦技能力の向上と士気の高揚を図る目的で実施した。小銃射撃検定、拳銃射撃検定、機関銃射撃検定（5.56mm機関銃MINIMI）、体力検定において、最も優秀な成績を収めた隊員に対し、師団長より認定証を授与するとともに、顕彰板へ掲示した。

認定された隊員は次のとおり
小銃射撃検定（基本射撃の部） 高梨曹長
第32普通科連隊 第2中隊
小銃射撃検定（応用射撃の部） 佐野3曹
第1普通科連隊 第1中隊
拳銃射撃検定 根岸2曹
第1普通科連隊 本部管理中隊
機関銃射撃検定 飯沼2曹
第1普通科連隊 第3中隊
体力検定（男性隊員陸士の部） 堀山士長
第32普通科連隊 第1中隊
体力検定（男性隊員幹部の部） 光又3曹
第34普通科連隊 第5中隊
体力検定（女性隊員陸士の部） 溝口士長
第34普通科連隊 重迫撃砲中隊
体力検定（女性隊員幹部の部） 金子2曹
第1師団司令部付隊



短SAM(B)の射撃準備



近SAMの射撃準備



携帯SAMの射撃



短SAM(B)の射撃

地元高校生とコラボ演奏で大反響！ 王子コンサート



第2部における学生との合同演奏

第1音楽隊は7月21日、北とびあ（東京都北区）において、公益社団法人王子法会との共催による王子コンサートを実施した。

本コンサートは自衛隊に対する理解及び親近感の醸成を図り地域との連携を深化させることを目的とし、2部構成で行われた。第1部は「行進曲きらめく波光」の軽快なテンポから開始され、聴き馴染みのある今年の大河ドラマ『鎌倉殿』の13人メインテーマや映画『ジュラシック・パーク』のサウンドトラック・ハイライトを吹奏して観客を魅了した。

第2部は明るい曲調の「My Favorite Things 私のお気に入り」から再開され会場の雰囲気が一気に盛り上がった。また1音の歌姫綾3曹が映画『ボディガード』より「I Will Always Love You」を生歌で披露し大喝采を受けた。続いて地元2校の高校吹奏楽部員等が参加して合同演奏を実施した。

その後アンコールに「花は咲く」「宝島」を吹奏し、盛況のうちに終演した。演奏に参加した高校生は大きなステージで演奏できてとてもうれしかった。「技術の高い演奏会に参加でき勉強になった」などの感想を述べた。

師団最先任上級曹長交代式
第8代師団最先任はジャニス系自稱
8月1日付で第8代師団最先任上級曹長に中村准尉が上番した。

新旧最先任上級曹長
上番の挨拶をする中村師団最先任上級曹長
中村准尉は前職として、第1偵察隊最先任上級曹長として勤務している。上番に当たり中村准尉は「われわれ日本の戦士たる陸上自衛官は、武士道を実践すること自体が、日本の伝統を継承し、日本を守ることだ」という教えを私に受けてきました。自ら番した大久保最先任上級曹長は、東部方面総監部付隊（朝霞）へ栄転した。

部隊長等会議で指導事項の徹底を図る 隊員指導の在り方について意見交換



部隊長等会議の様子

師団は7月20日、司令部作戦室において第2回師団部隊長等会議を実施した。当初、陸幕が実施した定例幕僚VTC（7月）の概要説明等を行い陸幕・東部方面隊からの指導事項等の徹底を図った。またZ世代の特性について率直な意見を公表した。積極的な意見交換により今後の女性広報官の活用について相互に理解を深めることができた。

師団は7月20日、司令部作戦室において令和3年度師団ナンバーワン戦士の認定式を行った。今回で6回目となる「師団ナンバーワン戦士」の認定は、師団の隊員のさらなる戦技能力の向上と士気の高揚を図る目的で実施した。小銃射撃検定、拳銃射撃検定、機関銃射撃検定（5.56mm機関銃MINIMI）、体力検定において、最も優秀な成績を収めた隊員に対し、師団長より認定証を授与するとともに、顕彰板へ掲示した。

認定された隊員は次のとおり
小銃射撃検定（基本射撃の部） 高梨曹長
第32普通科連隊 第2中隊
小銃射撃検定（応用射撃の部） 佐野3曹
第1普通科連隊 第1中隊
拳銃射撃検定 根岸2曹
第1普通科連隊 本部管理中隊
機関銃射撃検定 飯沼2曹
第1普通科連隊 第3中隊
体力検定（男性隊員陸士の部） 堀山士長
第32普通科連隊 第1中隊
体力検定（男性隊員幹部の部） 光又3曹
第34普通科連隊 第5中隊
体力検定（女性隊員陸士の部） 溝口士長
第34普通科連隊 重迫撃砲中隊
体力検定（女性隊員幹部の部） 金子2曹
第1師団司令部付隊



認定式の様子
師団は7月20日、司令部庁舎において令和3年度師団ナンバーワン戦士の認定式を行った。今回で6回目となる「師団ナンバーワン戦士」の認定は、師団の隊員のさらなる戦技能力の向上と士気の高揚を図る目的で実施した。小銃射撃検定、拳銃射撃検定、機関銃射撃検定（5.56mm機関銃MINIMI）、体力検定において、最も優秀な成績を収めた隊員に対し、師団長より認定証を授与するとともに、顕彰板へ掲示した。

第12旅団

12ヘリ

佐多でドアガン射撃訓練 航空機からの射撃練度を向上



第12ヘリコプター隊は7月15日から24日までの間、佐多射撃場（鹿児島県南大隈町）において令和4年度多用途ヘリコプターからの機関銃射撃訓練及び長距離機動訓練を実施した。

本訓練においては、ドアガン射撃訓練を実施して、射撃の養成及び射撃練度の向上を図るとともに、西部方面区への長距離機動訓練を実施して、航空操縦士、車両操縦手等の技能向上を図った。

ドアガン射撃訓練では、ホバリング（空中静止）状態でのUH-60の機上から12.7mm重機関銃及び5.56mm機関銃MINIMIによる射撃に加え、水平飛行間及び下降・上昇する間における射撃訓練などが実施された。地上で行う射撃とは感覚が異なる機体が揺れる状態での機関銃射撃が



洋上を長距離機動するUH-60

練成できたほか、射手及び操縦手が相互に連携を図ることの重要性を認識するなど所望の成果を得た。

また長距離機動訓練においては、空中機動部隊が相馬原駐屯地からCH-47、北宇都宮駐屯地からUH-60が数ヶ所の経由地を経て佐多射撃場まで往復約2200キロ、地上機動部隊は相馬原駐

屯地及び北宇都宮駐屯地を出発し松本駐屯地で集結した後、往復約2700キロの行程を安全確実に機動することにより、航空操縦士、車両操縦手等の技能を大いに向上させた。

加し、本訓練が多くの部隊等の支援を受けて成り立っていることを感じ、昨年度から本訓練に向けて段階的に練成を実施してきた成果を活かすことにより、操縦士等との連携を円滑に実施でき



中嶋 3曹



坂本 3曹

き、その結果、合格することができた。これからも本訓練の成果を発揮して各種任務に対応していきたい。」

坂本3曹「ドアガン射撃としては2回目の参加だが、初回と比べ練度も上がり良い結果となったと感じた。事前訓練に加えて先輩方からのアドバイスを活用して、万全な態勢で訓練に臨んだつもりだが、実際は気象の影響が射撃の精度を左右することを再認識した。今後、この教訓を反映できるように引き続き練成していきたい。」

12高射

練成成果を発揮し要撃成功 令和4年度師団等対空実射訓練に参加

第12高射特科隊は7月22日から8月3日までの間、静内対空射撃場で実施された令和4年度師団等対空実射訓練（短SAM）に参加した。

本訓練は短SAM小隊の対空戦闘能力を評価・判定するとともに、対空射撃練度の進歩・向上を促す目的で実施した。また訓練実施に当たり、陸

上自衛隊高射学校が編成する射撃支援隊評価支援小隊の評価支援を受けた。前身の第12高射特科中隊でも高い評価を受けていた12高射は「要撃成功、優秀、日本一」を目標に掲げ、前年度の射撃

成果を緻密に分析検討した。また7月16日から21日までの間、東千歳駐屯地において転地訓練を実施して、対空実射訓練に向けた短SAM小隊の射撃練度の完整を図るとともに、高射直接支援小隊の支援を受け、実射器材等の最終的な整備を実施し、対空実射訓練に万全を期した。

対空実射訓練においては、練成の成果を十二分に発揮し、見事、標的機の要撃に成功した。

参加した12高射短SAM小隊の渡辺3曹は「対空実射訓練に射撃手として参加し、日本一を目指して猛暑の中、厳しい訓練を仲間達とやり抜くことができた。要撃成功に貢献出来た事は自信に繋がります。今後さらなる高みを目指して訓練に励んでいきたい」と達成感と今後の抱負を述べた。



旅団長の訓話に聞き入る防大第3学年の学生



装備品の説明を受ける防大第2学年の学生

また防大第2学年の学生に対しては装備品の展示説明などを実施して知識の涵養に寄与した。

未来の幹部自衛官の育成に寄与 防大2学年・3学年の研修を支援

旅団は防大第2学年・3学年の研修を支援した。

旅団は防大第2学年・3学年の研修を支援した。旅団は防大第2学年・3学年の研修を支援した。旅団は防大第2学年・3学年の研修を支援した。

本支援では防大第3学年の陸上要員に対し、連隊長等による精神教育及び40キロ徒歩行進を含む普通科職種各種行動を研修・実習させた。また隊員と営内生活を共にさせ、部隊の実情を肌で感じさせた。一連の部隊実習を通して幹部自衛官の地位・役割及び部隊の実情を体験させ、陸上要員として必要な知識・技能の向上に寄与した。さらに旅団研修では旅団長による訓話をはじめ、旅団の概要及び活動を説明するとともに、旅団の特性である空中機動訓練を研修させた。



夏の日差しが降り注ぐ8月1日、第15代副旅団長（兼相馬原駐屯地司令）に第5旅団から吉浦健志1等陸佐が、第11代



吉浦 1佐



栗木 1佐

幕僚長に富士学校から栗木幹雄1等陸佐がそれぞれ着任した。

駐屯地に到着した吉浦1佐は、駐屯地慰霊碑に

な。8月1日付で副旅団長、菅股1佐は朝霞駐屯地業務隊長へ、前幕僚長 上大迫1佐は北部方面混成団副団長へご栄転された。



な。8月1日付で副旅団長、菅股1佐は朝霞駐屯地業務隊長へ、前幕僚長 上大迫1佐は北部方面混成団副団長へご栄転された。



射撃準備を実施する第12高射特科隊の隊員

射撃準備を実施する第12高射特科隊の隊員



弾薬の点検をする第12高射特科隊の隊員

弾薬の点検をする第12高射特科隊の隊員

第12旅団施策 ゴールドGood Jobカードを授与

隊員の模範となる功績を称える



第5級賞詞が旅団長より授与される。

第2普通科連隊第2中隊 荒井3曹（写真）は令和4年2月、小銃副隊長として分隊長を積極的に補佐し、任務遂行に貢献した功績によりGood Jobカードを授与された。荒井3曹はGood Jobカードの授与が、令和2年4月から計8回累積したことにより、7月21日にゴールドGood Jobカードを授与され、併せて旅団長から

旅団独自で定めている職務意欲高揚施策であり、隊務全般において「陰日向なく隊務に精励し他の隊員の模範となる隊員」に対し旅団長及び最先任等を通じて付与するもので、複数回の功績が認められた者にはゴールド賞に併せて第5級賞詞が旅団長より授与される。

第1施設団

インド太平洋地域の平和と安定 東ティモール能力構築支援 質の高い教育の追求

施設団は8月17日から9月30日までの間、東ティモール民主共和国における能力構築支援に、大蔵2尉以下7人の要員を派遣した。

本事業はインド太平洋地域の平和と安定を目的として、平成27年度以降継続的に実施されており、施設団としては、平成29年の初回から5回目の派遣となる。

本年度の能力構築支援は、第307施設団が担い、東ティモール国軍に対し、東ティモール国軍の醸成に寄与し、約1カ月の任務にまい進する。

教育を実施する。このため年度当初から3回の準備訓練を実施し、教育方法や語学能力を向上させ万全の態勢を整え出国した。

派遣隊員は本派遣を通じて、東ティモール国軍官兵隊員の能力向上と両国間相互の友好及び信頼感の醸成に寄与し、約1カ月の任務にまい進する。

派遣隊員の紹介

第307施設団

2尉 大蔵 秀紀
曹長 植木 靖二
1曹 扇塚 浩三
2曹 風間 光則
2曹 渡邊 淳
3曹 星野 秀忠
第101施設器材隊
3曹 田上 孝也



出国時に団長激励を受ける派遣隊員



派遣隊員との記念撮影

古河駐屯地は7月25日・26日の両日、駐屯地において2コ中学校の生徒6人に対する職場体験学習に協力した。

職場体験学習協力 『働く』を知る機会を提供



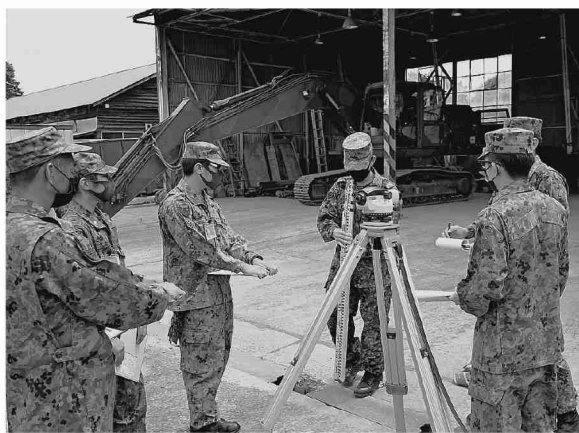
駐屯地司令(右)と懇談



駐屯部隊の説明



救急法の体験



第2回準備訓練 教授予行(導入教育)



第3回準備訓練 団長現地指導

課長工場長等集合訓練
課題対処能力の向上を図る

関東処は7月12日、霞ヶ浦駐屯地において令和4年度課長工場長等集合訓練を実施した。

本訓練は各部、各支処等の課長・工場長等に対し、処の課題・施策の必要な事項を周知徹底し、管理者として主体的に職務に取り組むための資を付与することを目的に行われた。

前段は管理者に共通する服務指導、人事施策、情報管理及び物品管理等

課長工場長等集合訓練
課題対処能力の向上を図る

本訓練は各部、各支処等の課長・工場長等に対し、処の課題・施策の必要な事項を周知徹底し、管理者として主体的に職務に取り組むための資を付与することを目的に行われた。

後段では「課長工場長等として主体的に職務に取り組むためにはいかにあるべきか」というテーマに基づきグループ討議を実施し、参加者は意見を述べ合いながら能動的な業務遂行の方策を検討した(写真)。最後に処長が訓話をもって企図の徹底を図り、訓練は終了した。

参加者は本訓練で得た知見を資とし、今後の業務に反映していく。

- 優秀隊員紹介
- 【総務部】 石原 優希 陸士長 前田 凌斗 行(一)1
 - 【装備計画部】 安國 圭介 2等陸曹 座間味 夢香 行(一)1
 - 【誘導武器部】 田村 朋久 3等陸曹
 - 【航空部】 田中 翔大 3等陸曹
 - 【通信電子部】 岩間 太樹 2等陸曹
 - 【システム技術課】 山崎 一将 行(一)1
 - 【松戸支処】 三戸 拓真 3等陸曹 行(一)2 部田 悟嗣
 - 【古河支処】 新井田 その 3等陸曹
 - 【用賀支処】 堀江 齋仁 3等陸曹 行(一)2 長尾 美紀
 - 【吉井弾薬支処】 新田 拓巳 2等陸曹 行(一)1 高橋 智也
 - 【富士弾薬出張所】 深澤 康平 3等陸曹
- (部隊建制順)



空中のドローンを監視する隊員

霞ヶ浦駐屯地は7月26日、駐屯地警備訓練を実施した。

本訓練は関東処及び駐屯各部隊の警備司令要員等に対して、ドローンに対する知識を付与するとともに、①違法ドローンを発見した場合の対応 ②操縦者を発見した場合の措置 ③落下状態のドローンを発見した場合の対応の3点を主に演練することを目的として実施された。

訓練参加者は



各部・各支処等から推薦
最先任が優秀隊員を褒賞

関東処最先任上級曹長大西准尉は7月26日、霞ヶ浦駐屯地において令和4年度関東補給処優秀隊員褒賞行事を実施し、優秀隊員を表彰した。

本褒賞行事は各部・各支処等からの推薦に基づき、その功績を顕彰し、隊員の士気高揚を図ること

とを目的としている。

最先任は褒賞状手交後「周囲の人たちへの感謝を忘れず、引き続き精進してもらいたい。おめでとう」と今後の活躍にも期待を込めつつ、ねぎらいの言葉を贈った。

松戸支処の部田(とり)た、事務官は「受賞でき光栄です。今後も頑張ります」と喜びを語った。なお受賞隊員は、左記のとおり。

関東補給処

空からの脅威に備え ドローン対処要領を演練

霞ヶ浦駐屯地 公式ホームページ
https://www.mod.go.jp/gsdf/eae/eadep

Twitter
フォロワー募集中!!

陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地 公式 @CampKasumigaura

「フォロー募集中」
「YouTube」
「Twitter」
「Facebook」

後支隊

第12代隊長に弓場 1佐

要望事項「即応態勢の維持」「技術の錬磨」



着任した弓場 1佐

8月1日付をもって、第12代東部方面後方支援隊長に補給統制本部火器等陸佐が着任した。

弓場1佐は着任式において「方面隊があらゆる任務を完遂し国民の負託に応えるためには、その活動を支える兵站基礎の確立が重要である。その責務の中核を担う後方支援隊の行動が、方面隊の任務の完遂に直結するとの認識が必要である。諸先輩が築かれた伝統を継承しつつ、環境の変化に対応し、各人の能力を向上させ、部隊としての兵站支援能力の向上を図り、あらゆる事態において兵站支援任務を完遂できるように進化し続けなければならない。全身全霊をもって職務にまい進することを誓う」と訓示

また隊を指揮・統率するに当たり「任務完遂」を統率方針に掲げるとともに、要望事項として2点を述べた。1点目は変化の激しい情勢下・環境下において、いかなる事態にも迅速かつ的確に対応するための部隊及び各人の「即応態勢の維持」を、2点目は任務完遂の原動力としての補給・整備・輸送及び不発弾処理に関する技術集団としての高いレベルを維持するための「技術の錬磨」である。



隊長の着任式の様子



野外通信システム教育の見学



迷彩服姿で記念撮影

また家族に教育状況を知っていただくため、教育見学等を企画した。まず群教育隊区隊長等が通信科について概要を説明した後、基本ネットワーキング課程の教育状況を見学していただいた。体系的な教育を目的とした家族は、安心した様子であった。

シ通群

新隊員と家族の再会 自衛隊家族会部隊見学支援

東部方面システム通信群は8月25日、東京地方が実施した東京都家族会部隊見学を支援した。本支援では新隊員と家族との懇談の場を設定するとともに、新隊員後期教育の見学及び説明を実施した。

現在、群教育隊が実施中の新隊員後期教育へ教育入隊中の隊員と家族が再会し、現在の教育状況や生活環境について話すなど、久しぶりの親子の時間を提供することができた。懇談を実施した家族からは「迷彩服の姿を初めて見たので、普段より一段と頼もしく感じた」との感想も寄せられ、普段とは違うご子息の一面を見ていただくことができた。

航空隊

84mm無反動砲実射訓練 若年隊員の射撃要領習熟を図る



照準規制を行う隊員



射撃時の激しい後方爆風

東部方面航空隊は7月29日から31日までの間、相馬原演習場において令和4年度84mm無反動砲実射訓練を実施した。84mm無反動砲は航空

隊が保有する唯一の対戦車・対地火力であり、その役割は大きい。一方、無反動砲は前方と後方の衝撃を同じにすることで射撃時の反動を打ち消す構造である。爆音や後方爆風はすさまじく、安全管理が重要であるのみならず初めて射撃する隊員にとっては、非常に神経を使う装備である。

今回の訓練の射手は、未経験者で編成され、立川駐屯地で行った事前訓練では、砲・弾薬の取扱いや要領等基本的な事項を真剣な表情で学んでいた。当日は実射訓練を行う射場において、天候にも恵まれ、予定通り射撃を実施した。当初、緊張した面持ちの隊員たちも、回を重ねるごとに要領を得るようになり落ち着いて

同期と励ましあいながら 女性自衛官教育隊 第101期陸曹候補生課程教育



猛暑の中での小銃分隊による攻撃



同期と協力しながらの障害構成

女性自衛官教育隊は7月13日から9月26日まで、第101期陸曹候補生課程(265人)の教育を実施している。本年3月に新編した第3共通教育中隊が主担任となり、初級陸曹として

射撃に集中していた。射撃を終えた隊員たちは、演習場の射撃であるものの命中の手応えを感じ、自信を持った様子であった。また、ある隊員からは、さらに命中率を上げるため、今回の成果を分析して次に反映したい等の感想があった。

航空隊は今後も持てる装備品等を最大限駆使し、任務完遂できるように練度向上に努めていく。

必要な知識及び技能、その事態に陥ったが、隊として感染拡大防止対策を徹底し、教育を速やかに再開した。

再開後は戦闘・戦技、各種訓練指導法、防衛法制等、小部隊のリーダーとして任務を遂行するに当たり必要な識能を修得する。陸曹候補生課程を無事修了し、立派に成長した姿を部隊の隊員に見せることができるよう、隊一丸となって全力で取り組んでいく。

東京地本

「学生新聞」への取材協力 練馬駐屯地・人間基地を見学

自衛隊東京地方協力本部は6月から7月にかけて、TOP CONNETC T株式会社が発行する大学生向けフリーペーパー「学生新聞」からの取材に協力した。



整備工場を見学する大学生

「学生新聞」は大学生自らが実際に興味のあることについて企画・取材・執筆を担当しており、4月と10月の年2回、10万部を発行し、全国約850校の大学・短大・専門学校のカリキュラスター



C-2輸送機の説明を受ける大学生

等に設置されているものである。昨今の国際情勢から自衛隊の活動について理解したいとの学生からの要望があり、東京地本が練馬駐屯地及び航空自衛隊人間基地の協力を得て取材に対応した。

当初、学生たちは練馬駐屯地において防衛省・自衛隊の任務と多様な業

茨城地本

日本の空を守る仕事 ボーイスカウトが百里基地見学

自衛隊茨城地方協力本部は8月8日、航空自衛隊百里基地においてボーイスカウト茨城県連盟26人に対する基地見学を

実施した。当日は関東に所在する唯一の戦闘航空団として、基地の概要や任務の説明を受けた後、消防小隊

神奈川地本

中学生、自衛隊の職業体験 護衛艦「おおなみ」を見学

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所は7月22日、横須賀基地で実施された山手学院中学

ある！ある！自衛隊



護衛艦「おおなみ」を見学する中学生

校の職業体験学習を支援した。本事業には生徒28人と教諭2人が参加し、海上自衛隊の概要説明・結果

び「がなかなか上手に結ぶなくて「難しい」という声も聞こえたが、何度もチャレンジして成功した時には生徒たちは歓声を上げて喜んでいました。また基本教練では暑さに負けず全員が真剣に取り組

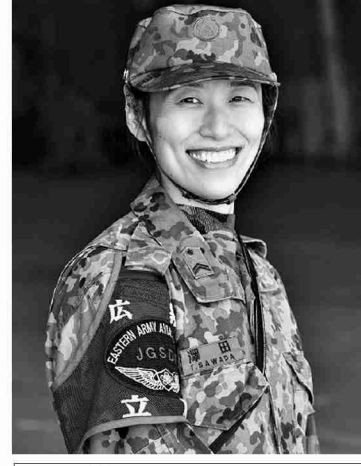


放水体験をするボーイスカウト

同行した教諭も「生徒と一緒に体験学習に参加して、大変貴重な体験ができました」と感謝しており、充実した職業体験になったようだった。

上岡募集案内所は今後も、学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力を伝えていく。

訓練所感



航空科の訓練を体験して

私は通信科隊員として18年間、第301映像写真中隊（市ヶ谷）に勤務し、昨年8月から立川駐屯地（兼東部方面航空隊）広報陸曹として勤務しています。

航空科部隊勤務1年の私の私にとって航空科の業務・訓練は初めて見聞きするものが多く、調整や撮影をするにしても一つずつ確認し、理解しなければならぬので毎日勉強中です。

制限、振動、気象状況による視界不良、被写体への距離など地上撮影以上に色々な状況判断が求められます。そのため操縦士整備員と事前に綿密な調整をした上で、当日は相互連携した撮影が重要になります。

静岡地本

幼稚園で車両展示 防災グッズの説明も

自衛隊静岡地方協力本部藤枝地域事務所は7月27日、認定こども園すずき幼稚園（牧之原市）で行われた子育てフェア



防災パネルを見る家族

「官庁の動く車展示フェア」に協力し、中型トラックを展示した。当日は天気にも恵まれ子どもたちは大粒の汗をかきながらも楽しんで見学していた。

藤枝所は今後も地域の防災イベントに積極的に参加して、自衛隊の活動紹介をしつつ地域住民の防災意識の向上に努めていく。

最先任 上級曹長

「My Destiny」

第1偵察戦闘大隊

田中 豪 准陸尉

令和4年3月17日に朝霞に新編された第1偵察戦闘大隊の最先任上級曹長 田中准尉です。良い機会なので少し自己紹介します。出身は熊本県、入隊は平成2年3月です。富士学校機甲科部での教育修了後、北海道、静岡での勤務を経て現在

の職に就いております。趣味・特技はアイロンがけです。

偵察戦闘大隊は広域に展開し機動力・火力を用いて警戒・監視及び戦闘行動を実施しながら情報収集する部隊です。今

までの戦車部隊、偵察部隊とは違うという認識を持って頂けたらと思います。

私の中で大切にしている事があります。それは、「出会った人すべて運命の人、そこから何を学ぶか、すべては自分にとって必要な人」という考

えです。突然ですが、人が一生に出会う人の数って何人かご存知でしょうか？

人生で何らかの接点を持つ人は30000人と

言われています。これは世界の人口全体の約0.000375パーセントに当たります。その中から親しい会話ができる人は300人、友達と呼べるのは30人、親友と呼べるのは3人と呼ばれてお

ります。そう考えると、皆さんがすでに出会っている、家族、友人、恋人、同僚、上司、先輩、後輩などは、本当に少ない確率で出会った奇跡の人たちなのです。自衛隊では訓練、各種教育、定期異動、転地訓練、厚生活動等さまざまな機会を通じ人と出会う事が多々

あると思います。その環境の中で一つ一つの出会いを大切に、多種多様な考えの隊員や気の合う隊員、ちょっと苦手なタ

イプの隊員等との人間関係を構築していく事が自己の成長につながり、その結果「人生の質」を上げる事ができるのでは？と考えることができます。

鬼にも、一度しかない短い人生(自衛官人生)を謳歌したいと思いませんか？

この記事を読んだあなたが今後「My Destiny(運命の人)」に出会うことを祈っています。

あると思います。その環境の中で一つ一つの出会いを大切に、多種多様な考えの隊員や気の合う隊員、ちょっと苦手なタ

イプの隊員等との人間関係を構築していく事が自己の成長につながり、その結果「人生の質」を上げる事ができるのでは？と考えることができます。

鬼にも、一度しかない短い人生(自衛官人生)を謳歌したいと思いませんか？

この記事を読んだあなたが今後「My Destiny(運命の人)」に出会うことを祈っています。

あると思います。その環境の中で一つ一つの出会いを大切に、多種多様な考えの隊員や気の合う隊員、ちょっと苦手なタ

イプの隊員等との人間関係を構築していく事が自己の成長につながり、その結果「人生の質」を上げる事ができるのでは？と考えることができます。

鬼にも、一度しかない短い人生(自衛官人生)を謳歌したいと思いませんか？

この記事を読んだあなたが今後「My Destiny(運命の人)」に出会うことを祈っています。

あると思います。その環境の中で一つ一つの出会いを大切に、多種多様な考えの隊員や気の合う隊員、ちょっと苦手なタ

イプの隊員等との人間関係を構築していく事が自己の成長につながり、その結果「人生の質」を上げる事ができるのでは？と考えることができます。

鬼にも、一度しかない短い人生(自衛官人生)を謳歌したいと思いませんか？

この記事を読んだあなたが今後「My Destiny(運命の人)」に出会うことを祈っています。

あると思います。その環境の中で一つ一つの出会いを大切に、多種多様な考えの隊員や気の合う隊員、ちょっと苦手なタ

笑顔であいさつ

「笑顔であいさつ」 東方面總監部付隊 雨宮 静 3等陸曹

今月のフェアレディは、東方面總監部付隊雨宮3曹です。

雨宮3曹は東京都出身、平成25年に入隊して東北方面音楽隊、第12音楽隊でホルン奏者として活躍し、現在は東方面總監部付隊に所属し、広報センターで勤務しています。

Q1・普段の業務は？
広報センターで来館者への接客を行っています。自衛隊では当たり前

のことを質問され、改めて自衛隊のことを考えさせられるところや、自分の職種以外のことを知ることができると魅力を感じます。部内外問わず笑顔でのあいさつや、自分から会話するよう心がけています。

Q2・印象に残っている訓練等は？
女性自衛官教育隊で新隊員教育隊の班長として勤務したことです。自衛

官の基本基礎だけでなく社会人としての第一歩を教えることは大変難しく、私自身も成長することができました。今までの教育や部隊で大切に育ててくださった隊員に改めて感謝の気持ちを持ちました。

Q3・打ち込んでいたことは？
現在、朝霞駐屯地の駐屯地カウンセラーに上番しています。実際にカウ

ンセリングを行ったり、教育で指導することもあります。新しい知識を手に入れるうれしさを勉強がとても楽しいです。

Q4・休日の過ごし方は？
大学時代の友人と通ったり、猫カフェで写真撮影、愛車でプチ旅行(看板猫のいる宿)をして癒されています。また自分の練度向上を目指し、カウンセリング講習

会に参加するようにしています。

笑顔が素敵な雨宮3曹の今後の活躍に期待しています。

空機動指導官として部隊の任務達成に貢献しています。

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？
自衛官である兄2人の迷彩服姿に憧れて陸上自衛隊に入隊しました。

Q2・航空科を選んだ理由は？
幼い頃から相馬原飛行場で離発着するヘリコプターを見ており「いつか自分もヘリコプターに携

わる仕事があった」と思いが強くあったため、航空科を選びました。

Q3・印象に残った訓練等は？
陸曹教育隊の非常呼集訓練において、背のうの作が適切にできず重量の偏りが生じて、その後実施された行進訓練で肩を痛めてしまいました。現在は、その教訓である事前準備や整理整頓の大切さについて、後輩を指

導する中で、その実体験を役立てています。

Q4・休日の過ごし方は？
ゴルフにはまっていきます。職場の先輩と練習場に行ったのがきっかけです。ゴルフを始めました。まだまだ初心者ですが最近

Q5・最後に一言
失敗を恐れず何事にも全力で挑戦することで必ず大切な教訓を得ることができると思っています。

何事にも失敗を恐れず全力で取り組む、自衛官として、人として成長し

上司・同僚・後輩から信頼される陸曹を目指して日々精進します。

のりい表情が印象的な岡田3曹の今後の活躍に期待します。

1回、遺骨収集に派遣された。遺骨収集事業には現地において発掘等のハード作業をする

資料等の調査を行う調査団に分かれている。

マリアナ諸島に属するグアム島はサイパン、テニアンと比べ反日感情がまだ現地に深く残っている。また、かつての激戦地が米軍基地敷地内にある等、当地での遺骨収集活動が安易に行えないことが肌で感じた。

戦後77年、私のような遺族3世も平均50歳を過ぎていく。祖父の遺骨は帰還できないが、遺骨収集が可能な地域にて私にできることがあればお役に立ちたいという思いでこの事業に参加している。いま

だ還らぬ遺骨をどうすればいいのか？今回のグアム調査団での活動を通じ、今後の取り組み遺族として戦争を知らない三世としてどのような活動がふさわしいか？対象国と良き友好関係を築くにはどうすればいいのか？。ご遺骨の祖国帰還が叶えられなくても、一人一人の心の中で先人の魂を感じ共に平和な日本を歩んでいくことが必要なのではないか？。簡単に結論が出る内容ではないが、引き続き事業に参加し学び感じることが重要であると思う。

戦争は憎んでもその国や国民には罪はない。憎むことではなく共に手をとり笑顔で平和に過ごせる日々を願っています。

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守っていきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の感謝の言葉。多くの隊員の祝福を受け涙ながらに正門を出てゆく。今まで接してきた親の違一面を見て、自衛官への道を決意したという。

他方「就職活動中の子に自衛官への道を薦めているのだけれど…」久しぶりに会った元同僚は悩んでいた。自衛隊は嫌いではないけれど親とは違う道を歩みたいのだという子もいる。

何がトリガーとなって子の心を変えるのかは予測できない。ひとつ言えることは、子は離れていても近くにいる、子なりの価値観をもって冷静に親の一挙手一投足や成り行きを観察しているということだ。

どのような道を歩んでもそれは成長の証、自分とは似て非なる人格である子の人生を尊重し、これからは見守ってきたい。

編集後記

小学生の頃に連れて行かれた駐屯地イベントで会った自衛官がカッコよかった。入隊動機にそう語る受験生は少なくない。また親の退官行事への立ち合いがきっかけという子もいた。将来を気遣う上司、ともに働くことができた喜びを語る同僚、教える子の